

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南大東村テリハボク高度活用プロジェクト事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興		
担当部署名	産業課	事業実施 年度	平成 29	~	平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	<p>南大東島では、テリハボクは古くから防風林・保安林・農地防風林として植栽され台風等の風や塩害から島を守ると共に島の景観にも溶け込んでいる最も重要な樹木である。そのテリハボクが資源(オイルや薬用油)として高度活用できることが言われており島の特産品としての活用方法の調査を実施する。</p> <p>①テリハボク賦存量調査 ②テリハボク種皮オイル及び各部位の成分分析 ③テリハボク種子収集装置 ④オイル事業化に向けた検討</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費	
	A. 予算現額	7,699	12,579			20,278	
	B. 執行済額	7,548	12,579			20,127	
	うち 交付金充当額	6,038	10,063			16,101	
	執行率(%) (B/A)	98.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.3%	
執行状況の説明	・H29年度の執行率は98.0%、H30年度の執行率は100%で、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・テリハボクの地域資源調査の実施	目標	調査の実施	オイル商品化 及び品質管理 調査			
		実績	調査の実施	オイル商品化 及び品質管理 調査			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・テリハボクの地域資源調査の実施完了	目標	完了	完了			
		実績	完了	完了			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業完了後の取り組み							

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度				R3年度 目標/発現年度
	・テリハボクの種子を活用した事業を実施しうるか確認した後、速やかに事業化につなげる。		目標	事業化につなげる。			
		実績	事業化につなげる。				
		目標					
		実績					
状況説明	【R1年度】 令和元年度に商品が完成し、試験販売を開始した。						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)			
【R1年度】 ・試作品のアンケート等も実施し、好評の部分は活かし、好評ではない意見は対策を練っている。				【R1年度】 ・アンケートでわかった改善点を修正した商品を開発する必要がある。			
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・改善の開発は別事業で行い、さらなる商品の改善を図りテリハボクの有効活用に向けて支援をしていく。							

市町村名		南大東村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	星野洞機能強化整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興	
担当部課名	産業課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-1	
事業内容	星野洞は、神秘的な空間が広がる島一番の自慢できる観光施設である。昭和63年に実施した故郷創生事業を活用して、観光客に観賞できるよう整備された星野洞は27年が経過して、洞内の照明施設やセンサー等が故障して洞内観光に支障を来している。又、照明施設は鍾乳石に悪影響を与える高温を発する照明であることから、全てLED照明に取り替えて学術的にも貴重な鍾乳洞の環境保全と観光振興を図りたい。併せて、入道扉を強化及び稼働手摺りを整備し安全確保を行うと共に専門家への鍾乳洞診断を委託して洞全体の機能強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	158,247				158,247	
	B. 執行済額	158,247				158,247	
	うち 交付金充当額	213,102				213,102	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	当初予算90,840千円であったが、人件費及び鋼材等の高騰により不測の日数を要したため工事費143,878円、委託費1,890千円を平成30年度に繰越した。又、沖縄本島からの作業員確保のため、旅費及び宿泊費等の増額により67,406千円の増額となった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	設計業務の実施	目標	基本設計・実施設計の実施				
		実績	基本設計・実施設計の完了				
	機能強化工事の実施	目標	整備工事・建築工事・機能強化工事の実施				
		実績	整備工事・建築工事・機能強化工事の完了				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	設計業務の完了 機能強化工事の完了	目標	1棟				
		実績	1棟				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度		R3年度 目標/発現年度
	年間入洞者数2,400人		目標	-	-	2,400人	
			実績	2,062人			
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【R1年度】 ・星野洞のR1年度の入洞者数は2,062人となった。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・機能強化を図る上でLEDを使用したことで、洞内全体の細部の色彩が鮮やかになり、視覚的に効果があった。また、貴重な鍾乳石等の環境保護への対応を行った。</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R1年度】 ・機能強化により、観光資源としての活用は出来たが、輸送人数に限度があるのと、宿泊施設等のインフラ整備が整っておらず、入洞者の増には繋がっていない。</p> <p>【 年度】 ・</p>				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・今後は、村全体の観光者数を増やす事が必要であり、航空路線の拡大やインフラ整備を行う必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	南大東村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	南大東村防災体制強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 防災及び国土の保全			
担当部課名	総務課		事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	大規模な自然災害に備え、防災備蓄等を整備する。又、海岸に向かう主要道路にゲートを設けて、住民や来島者の安全を確保する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費		
	A. 予算現額	15,760				15,760		
	B. 執行済額	15,760				15,760		
	うち 交付金充当額	9,184				9,184		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
執行状況の説明	海岸侵入防止ゲート工事については一部の海岸(海軍棒プール入り口)が「南大東島被害海岸植物群落」に指定されているため、現状を変更する際は文化財保護法の規定により、文化庁へ現状変化許可申請を行い、許可を得る必要がある。よって、協議に不測の日数を要したため、年度内の官僚が困難となり、5,470千円は繰越となった。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	住民の非常用物資・資機材等の準備 住民及び観光客の安全確保	目標	備蓄機材調達の委託、海岸侵入防止ゲート工事の実施					
		実績	備蓄機材調達の委託、海岸侵入防止ゲート工事完了					
	被災時における不明者の捜索範囲の拡大	目標	備品購入(ドローン)実施					
		実績	備品購入(ドローン)完了					
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	非常用物資・資機材等・備品等の必要分を100%整備 捜索範囲の増16万㎡ 海岸進入禁止ゲート設置完了	目標	完了					
		実績	完了					
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度			R1年度 目標/発現年度
	海岸における水難事故件数0件	目標	0件			
		実績	1件			
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【R1年度】 未だ実用はしていないが大規模な自然災害に備え、避難者に対し、いつでも防災備蓄品を供給できるよう調達し、各字(6字)へ配布し、集会場へ保管している。</p> <p>【R1年度】 備品(ドローン)を導入後、災害等における行方不明者は発生しておらず、未実施であるが定期的に行われる防災訓練等で演習を行っている。</p> <p>【R1年度】 ・海岸侵入ゲートは村内に波浪警報及び波浪注意報が発令された場合に、職員が速やかに閉鎖して施錠を行う。警報及び注意報が解除された場合も速やかに閉鎖の解除も行っている。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R1年度】 ・本事業を導入した後はこれといった大規模な自然災害は発生しておらず、未実施であるがいつでも対応できるように万全な体制を整えている。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>			<p>【R1年度】 ・防災備蓄品については、各字の区長をとおり、定期集会等で点検を行い災害時に迅速に対応できるよう整えさせている。</p> <p>【R1年度】 ・備品(ドローン)については、これまでどおり定期的な防災訓練等で、点検や演習を実施し、災害に備える。</p> <p>【 年度】 ・海岸侵入ゲートの閉鎖に関しては住民や島外からの来島者の安全確保を図るため、行政懇談会、広報誌、各字の集会等で周知させていく。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R1年度】 ・消防団、区長会、その他関係機関と連携し、防災救急訓練を実施しながら、防災備蓄品や備品等を実際に使用し、取扱いの知識と技術を取得させ、実際に緊急事態や自然災害の発生時に備える。又、海岸侵入ゲートは解錠波浪警報や注意報が発令されれば速やかに閉鎖し、住民や来島者の安全確保に努める。</p> <p>【R1年度】 .</p> <p>【R2年度】 .</p>						